

# 「学校評価」に対する運営協議会の方々の御意見

保護者や地域の方に1月号で「学校評価」の結果をお知らせしましたが、今回それを受けて、学校運営協議会の理事・推進委員の方々に外部評価をしていただきました。

## 1. 教職員による自己評価について

- ・ 本校の先生は、放課後も児童のため遅くまで居残り、激励したい気持ちでいつも見させていただいていますので、自信をもって児童の体力・学力向上に励んで頂きたい。
- ・ {「個に応じた学力」がつけられるように、授業時間や放課後に指導している。} や {子ども達一人ひとりの活躍できる場、認められる場を考えて学級経営をしている。} の項目に「できている」が少ないですが、子ども一人ひとりに対応していくのはとても大変なことだと思います。でも、児童の評価で先生に対する項目に「いいえ」が少し多いのが気になります。時間的にも余裕がないかもしれませんが、子ども達の声聞いて信頼関係を築いていただければと思います。
- ・ {PTA や地域の行事や活動に、積極的に参加している。} という項目の評価で、ややできていないと答えた先生が半数近くおられるのは仕方ないと思います。家庭をもっていたり小さなお子様がおられる先生は、休みの日は休まれたらいいと思います。今年は、多くの先生が参加されたと思います。
- ・ ご自身への評価は謙遜されている気持ちもあると思いますが、お忙しい中よく頑張ってくださいと感じ感謝しています。
- ・ {稲荷小学校の教育は、全体的に見て満足できる状態である} の「できていない」が少し気になりました。
- ・ 全体的に先生方が子ども達の教育に取り組もうとされているのを感じます。その中で {PTA や地域の行事や活動に、積極的に参加している。} の項目で「ややできていない」が50%あり、先生方が忙しすぎる様子が伺えます。このことが、{稲荷小学校の教育は、全体的に見て満足できる状態である} の「できていない」の回答につながっているのでしょうか。添付

資料の保護者の声を見ても PTA や地域の行事・活動などを通じての情報確保が大切と思います。

## 2. 児童による自己評価について

- ・ 児童が改めて自分をみつめるという点でアンケートに回答させるのもよいことと思いました。
- ・ 挨拶については、「分析と考察」のように先ず大人から声をかけることも大事だと思っています。怖い事件もあり，子どもの警戒する気持ちもわかりますから。
- ・ 勉強をがんばり，学校が楽しいと思える子どもが多いこと大変うれしく思います。
- ・ よい環境の中でよい先生達の元で，教育して頂いている親も協力して学力・体力の向上を目指して頑張っている評価がでていて結構です。
- ・ 全体的に子ども達は学校生活，勉強を楽しんでいることが読み取れます。ただ，{先生から大切にされていますか・いろいろなことを話せますか・あなたの言うことや考えをよく聞いてくださいますか・困っていることについて一緒に考えてくださいますか} の項目について，「いいえ」と答えた児童が1割強いるのが気になりました。

先生にうちとけられない児童が増えているのでしょうか，気になりました。先生方は全ての子ども達に同じように接しておられると思いますがこの点に一層留意していただければよりよくなるものと思います。

## 3. 地域の方による外部評価について

- ・ 地域の人々の温かい協力で安全でより家庭環境と地域の団結の中でのびのびと育っている姿が評価となって出ていると思います。
- ・ 今回も挨拶の項目の満足度が少し低いのが気になります。いろいろな場面で自然に挨拶ができるように子ども達に話をしていかなければいけないと思いました。また多くの地域の方々に，子ども達や学校に関心をもち目を向けてもらうことが大事だと思いました。
- ・ {参観日・運動会・学芸会等，学校行事に参加しやすい} の項目で不満足と答えられているのは，運動会や学芸会の案内を出さなくなったからではないでしょうか。
- ・ 地域で挨拶をする子を育てたいならまずは大人からと思います。
- ・ 地域へ開かれた学校として努力して下さっていることは，よく分かります

が少子・高齢化社会の益々進む中、「児童・保護者」の結びつきは当然ですが核家族の多い中「児童・高齢者」の接点の希薄が思われます。近所を見回しても、「学校だより」の回覧ほどの位の方が読んでくれたはるやろう…と話し合っていました。

- ・ 全体的に「満足」「やや満足」を合わせて 90%を越えており、地域の方々から見ても稲荷小学校の教育及び子ども達に対して好感をもたれていることがわかる。その中で強いて言えば躰に対する「満足」回答が他に比べて少し低く、これは添付の資料(保護者の声)の多くの声(言葉使いや躰に関する苦言)ともよく対応しています。幼少期のしっかりした躰は非常に大切と思います。

#### 4. 保護者による外部評価について

- ・ このよい環境の学校で学力・体力の向上が望めることに感謝して、学校・地域に協力して益々よい稲荷学区になるよう、努力して感謝の気持ちを親自身が強め、児童たちと共に努力していけばもっとよい評価になると思います。
- ・ アンケートの結果の数字より、具体的な多数の意見の方が大事だと思います。普段からこのような意見を出し合える機会が 1 年に一度でもあればいいのではないかと思います。
- ・ 以前より全体的に「やや満足できない」と感じておられる人が増えたでしょうか。気になります。
- ・ 厳しい評価が多くありましたが、子どもを思う親心と理解していただきたいです。が先生方もこれに負けることなく自分の信念で子ども達に接していただきたいです。
- ・ 「トイレ」の話題が出ていましたが「トイレ」は公共心の原点のひとつでもありますし、各高学年の子の週 2 回の掃除はよいことだと思います。ただトイレトペーパーが千切れて下に落ちているクズが割に多いので、せっかく掃除しても紙くずがすぐ散らばりかわいそうに思いました。
- ・ 全体的に保護者の方々も学校・教職員の方々にも好意的な評価をされていて結構なことです。{子どもが家庭で規則正しい生活ができるようにしている}では、10%以上の保護者が「やや満足できない」と回答されており、厳しく自己採点されているようです。これを今後の改善に生かしていただくように。

